



北里大学同窓会栃木

栃木県支部ホームページQRコードです。
スマートフォンでのアクセスに利用下さい。

支部新年会2019

北里大学同窓会栃木県支部
支部長 滝 龍雄

自治医科大学

釜井聡子、飯島康之、石原寛明、石原加織
酷暑の夏が過ぎ、あっという間に冬がやってまいりました。

皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、栃木県支部の新年会を2019年2月16日(土)に開催いたします。

2月中旬になると厳しい寒さから少し抜け出し、やや花粉が飛び出す頃かと思いますが、美味しい料理で身体もポカポカ、楽しい仲間と語り合い、心もぽかぽか温めて同窓の輪を広げませんか？ ささやかながらゲームもご用意しています。

日時：2019年2月16日(土)午後7時より
場所：ホテルマイステイズ宇都宮
住所：宇都宮市東宿郷2-4-1
会費：20歳代3000円、30～60歳代5000円
70歳代3000円(当日会場で)

参加の申し込みは、同封のハガキで1月19日までにお知らせください。(近況も書いてね)

ご出席をお待ちいたしております。

今回は、宇都宮駅の東口方面となります。お気を付けてお越しくださいませ。



公開講演会：2019年7月7日(日)

猫専門病院 Tokyo Feline Medical Center

東京猫医療センター



院長 服部 幸先生

北里大学獣医学部2003年卒業

「ぼくはネコのお医者さん」

会場、懇親会等の詳細は次号の支部会ニュースでお知らせします。

是非予定に入れておいてください。

第45回支部長会に参加して

岸 善明

10月27日午後3時から、白金校舎プラチナタワーの12階会議室で「北里大学同窓会第45回支部長会・懇親会」が全国22支部からの代表が集まり開催されました。滝支部長の代理で当該会議に参加しましたので、その概要を紹介いたします。



(皆真剣に話しを聞いています。)

会議の前半1時間では同窓会理事会執行部から前年同様、次の①～④が報告されました。

1. PPA 地区懇談会について

2. 同窓会特別奨励賞について
3. 2018年度の支部定期総会の開催状況
4. 2019年度の会議予定
でした。

次に、予定された5県から2018年度の活動報告等がありました。埼玉支部では今後計画的に北里大学7学部の学部長に講演を依頼したい旨、説明がありました。実に興味が持たれました。

前半1時間は執行部からの説明、執行部が依頼した5支部の活動報告説明で、支部代表者からの質疑は全くありませんでした。会議の後半は伊藤学長の講演でした。興味が持たれた内容は、次の3点です。

①大学の理念、「命を尊び、生命の理念を探究し、実学を持って社会に貢献する。」、叡智と実践、不撓不屈で果敢にチャレンジする。

②就職率は99.6%、過去最高であった。

③18歳人口の減少に伴う私立大学の問題。18歳人口は現在119万人であるが2030年に約100万人、2040年に約80万人となる。これに伴い現在約600校ある私立大学が約400校になると言われているが、北里大学ではその時に残る私立大学は300校以下と想定している。



(懇親会で山梨県支部長と)

*：当日は白金校舎の北里祭が開催しておりました。ピルの谷間に10張り程のテントで模擬店がありましたが、50年前の記憶にあるにぎわい、雑踏は有りませんでした。



兼丸卓美 (2V)・斎藤けさよ (27V)

今年も北里大学同窓会栃木県支部と紅緑会(獣医学部同窓会)栃木県支部合同による福島競馬場観戦ツアーを11月10日(土)に実施致しましたので、その概要をお知らせ致します。

今回は同窓会及び紅緑会会員15名とその会員のご家族・ご友人を含め総勢35名の参加となりました。例年通り済生会宇都宮病院看護学校前に集合し8時30分に宇都宮を出発、途中西那須で県北の皆さんと合流、東北道を福島競馬場へと向かいました。当日は

事前に二本松ICと福島西IC間の橋梁補修工事による車線規制が有ることが知らされており、混雑状況を見ながら4号線による迂回ルートを念頭に置きながらの進行となりました。北上するにつれて周囲の山並みの紅葉も例年以上に鮮やかな色彩が見られました。特に紅色と黄色が目を惹きました。車中では、今回も初心者参加もあり「カンタン!馬券購入ガイド」を用いて競馬に関する若干の解説をした後に、参加者相互の親睦の一助になればと自己紹介をお願い致しました。二本松IC手前から若干の渋滞が始まったため、二本松ICで高速を降り、国道4号線で競馬場へと向かいました。4号線は思った以上にスムーズな走行が出来、途中道の駅でトイレ休憩をとり到着予定時刻より約20分遅れて競馬場に無事到着できました。丁度下見所には午後最初のレース(第5レース)の競走馬が周回していました。この馬たちは今日が競走馬としてのデビュー(2歳馬)を控えた馬たちで、とても緊張しての周回と思われました。

一行は受付を済ませ来賓室にて、リピーターの方を中心に先ほど下見所で見たと出走馬の馬券検討に向う人、先ずは昼食をとレストランに向う人など、各人それぞれが慌ただしい行動となりましたが、やがて午後のレースがスタートする頃には馬券片手にレース観戦が始まり一段落致しました。レースが進むにつれ、来賓室での馬券検討から次第に下見所での出走前の馬の気配のチェック、さらに芝コースを利用しての特別レース(当日は10レースから)がスタートする頃には数人が部屋のテレビでの観戦で、それ以外の方々はゴール前のデットヒートの感触を味わうために芝コース外側の柵からの観戦へと移動する方が増えました。当日は現在中央競馬でただ一人の女性騎手藤田奈々子ジョッキーの参戦が有り、その手綱さばきを見ようと多くのファンも身を乗り出して熱心に応援していました。当日の藤田騎手はわれわれが到着してから5レース以降4レースに騎乗し6レースでは見事2着(4番人気)に入線していました。因みにJRAの女性騎手は平成8年に誕生し現在まで藤田騎手を入れて7名います。



(お世話になります。世話人のお二人です。)

当日の競馬は 10 レース以降 1～3 ないし 4 番人気馬が 3 着以内に複数収まり高額配当を臨まなければ比較的的中される方がいたのではないかと思います。当たった方、外れた方（私も・・・）本当にお疲れさまでした。

最終レース観戦後は、4 時 30 分に競馬場を出発し、帰りも東北道車線規制を考慮して、二本松まで 4 号線を走り、二本松 IC から西那須経由で 7 時 30 分に無事宇都宮に到着致しました。

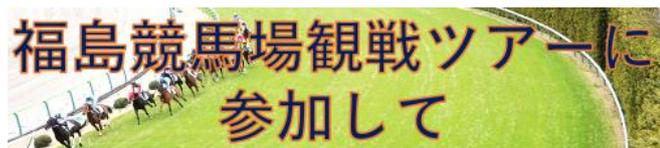
福島競馬場は大正 7 年に静岡県の藤枝競馬場を移設される形で開設されました。本年度は福島競馬場開設 100 年を迎えたメモリアルイヤーでした。このため競馬場の至る所にロゴマーク入りの「100 年のご声援ありがとうございます」のキャッチコピーフラッグが目を見せました。さらに 100 周年記念をテーマとした特別展示、商品マーケットなどのイベントも多く見例年以上の賑わいを見せていました。当日の入場人数も 9430 余人と昨年度を 1.3 倍上まわっております。

今年はこの福島競馬場観戦ツアーも平成 26 年から始まり連続しての 5 年目の節目の年を迎えることが出来ました。これまで 5 回のツアーで延べ 165 名（同窓生 80 名）の参加を頂きました。同窓生延べ 80 名の中、第 1 回からの皆勤賞は渡辺 寛（2V）、鈴木育美（27V）の両氏でした。ご協力に感謝と共に高額配当馬券の的中を念じておりましたが・・・。これからも会員の皆様のご要望に対応できるよう頑張りたいと思っております。参加される皆様にも御不便をお掛け致しますが「お願いこと」の周知を宜しくお願い致します。

ご協力有り難うございました。感謝申し上げます。



（最後に集合写真です。）



安足健康福祉センター 岩田 憲明

今回初めて競馬ツアーに参加させて頂きました。栃木県に来て 12 年になりますが、長らく集まりなどには顔を出さない引きこもり獣医師をしていたので、このような会が開催されている事も全然知らずに過ごしていま

した。県北食肉衛生検査所の鈴木敦君が色々な会に誘ってくれ、顔を出すようになりたくさんの卒業生に出会うことが出来て交流関係が広がり、もっと早くから来ていれば良かったと思っています。

私の競馬との出会いは約 20 年前に遡ります。大学で馬術部に所属しましたところ、競馬好きの巣窟であり、単純に馬が好きだった私も競馬の世界に自然と入り、土日になるとウインズ（場外馬券場）に入り浸りバイトを増やしたり減らしたりする生活を過ごしました。その後十和田キャンパスに移った後は、水沢や盛岡などの地方競馬に手を出すようになりました。実習の待ち時間などには、学校を抜けたし馬券を買ったりすることを良くやっていました。ですので、今回の競馬ツアーは初参加でしたがキャリアとしてはかなり長い参加者であったと思います。その長い競馬生活の中で、来賓室に入ることが出来たのは今回が初めてです。非常に感動しました。それくらい特別なことで、兼丸先生には本当に感謝申し上げます。



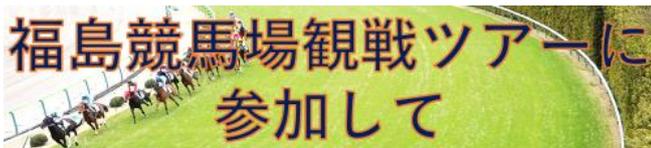
（資料を手に、次レースの勝ち馬の予想です。）

さて、今回の競馬ツアーの収支報告をさせて頂きます。結果から言いますと、払戻金は 65,130 円でした。これは今回の参加者の中では一番いい成績だったのではないかと思います。少し調子に乗らせて頂いて、私の馬券哲学を語らせて頂きます。私の馬券哲学、それは「勝つ馬の馬券を買う」です。馬券を買う上で大事なことは 2 点しかありません。1 点目は当てること、2 点目はトータルで負け越さないことの 2 点です。私の購入した馬券の写真を添付し、ご紹介します。京都 11R 単勝 2 万円、東京 11R 単勝 1 万円、福島 10R 複勝 100 円です。まず大きな金額をかけていたり、小さい金額を賭けていたりします。これは、そのレースの自信度とオッズによります。不確実性を多く含むレースなどでは小さく張り、ほぼ確実に勝つと考えられるものでは大きく張る、これが大事です。次に単勝 1 点買いで何万円も購入している点ですが、みなさんこれはできますでしょうか？普通はできないと思います。なぜこんな買い方ができるかというと、新聞の情報のデータ分析です。ありとあらゆる情報を分析しレースのシミュレーションを行います。それでほぼ間違いなく勝つと結論が出たレースの馬に大きく

張った結果が今回の払戻金になります。長々と書きましたが、次回の皆様の成績アップの一助になれば幸いです。最後になりましたが、世話役をやっていただきました齋藤けさよさん、本当にありがとうございました。いつかわが子を連れて参加したいと思っていますので、長くこの会が続くことを願っています。



(馬術部の経験は生きている。勝ち馬券を持っています。)



鈴木 敦

賭けごとの苦手な私は、『競馬場』(主に食べ物)を楽しもうと思い、今回のツアーに参加しました。福島競馬場に向かうバスの中で、わくわくしながら準備したお菓子(クッキーの詰め放題等)を食べ、また、参加者からのミカンと飲み物の差し入れを頂き、美味しい時間になりました。普段会えない友人や4年ぶりに再会した職場の同期と話をし、楽しかったです。また、先生からの馬券購入の説明に興味深く聞いていたら、あっという間に福島競馬場に到着し、参加者全員で来賓室へ向かいました。

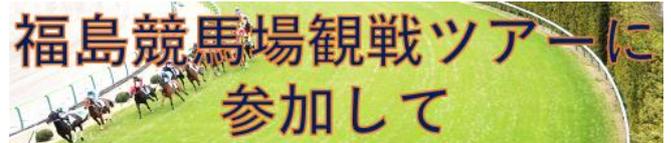


(来賓室からの景色。空も綺麗です。)

来賓室から見える競馬場の景色は素晴らしく、いい思い出になりました。来賓室で競馬を楽しんだ後、来賓室

を飛び出し、目的の食べ物である鳥ぎん福島競馬場店の『モツ煮』、上杉福島競馬場店の『米沢牛コロッケ』を食べてきました。参加した先輩にコロッケをご馳走になり、感謝です。また、食べ終わった後、競馬場内を散策し、開催されていたイベントにも参加し、当初の目的の『競馬場』を楽しめて大満足でした。馬券の購入や競馬場を楽しめた素敵な時間になりました。

今回、ツアーに誘ってくれた友人にとっても感謝です。再び参加できる機会があれば積極的に参加し新たな思い出を作りたいと思いました。



47VV 矢部 翠

社会人1年目、初めての福島競馬場観戦ツアー参加でした。競馬経験は0ではありませんでしたが、競馬場に行くのは初めてで、その上来賓室に入る事が出来るということで胸を高鳴らせていました。珍しく休日に早起きをし、宇都宮へ移動。そこからは皆さんとバスに乗りこみ、差し入れをいただいたり馬券の購入の仕方を学んだり、久々の遠足気分を楽しんでいました。

そうこうするうちにあっという間に福島競馬場に到着、最上階の来賓室から見える景色は圧巻で、一気にレースへの期待が膨らみます。到着早々慌ててその日1度目の馬券購入。その後レースが始まると、コースを駆ける馬の勢いや場内の音を感じるのが楽しく、肌寒い中レースの度に出外して観戦していました。レースを中心としたタイムスケジュールでしたが、合間に美味しいお昼ごはんも食べ、お土産屋さんにも立ち寄る事が出来て一通り楽しむ事が出来ました。結果は「次こそは」の連続で散々たるものでしたが、皆さんと一喜一憂しながらレースを楽しむ事が出来て非常に良い思い出となりました。



最後になりましたが、今回のツアーを企画、運営してくださった皆様、楽しいひとときを本当にありがとうございました。また来年も参加して置いてきたものを取り返しに行きたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

福島競馬場観戦ツアーに参加して

大島 藤太

11月10日土曜日、曇り空のなか紅葉に色づく東北道を通って福島競馬場観戦ツアーに参加しました。私と妻は、今回で2回目の参加でしたが、中には連続6回目参加の強者(6歳児)も含む、企画以来最大の35名の参加者で一路福島競馬場へと向かいました。途中、兼丸会長による「初心者のための馬券購入概論」を拝聴しました。初心者におすすめは「複勝」もしくは「枠連」？高配当を狙うには？等々、私も妻も参加した方々同様に戦略を練っていると、あっという間に、バスは福島競馬場に到着しました。

競馬場では、貴賓室入り口で左手に通行可能なスタンプをされると、エレベーターガール付きの直通エレベーターにて、6回の「貴賓室」へと通されました。参加者の方々は、お茶を飲む間もなく、常備してあった競馬新聞へと群がり、机に備え付けてあったマークカードと鉛筆を手に、競馬新聞をにらみつつ、心にためた熱い思いをひたすらマークを埋める作業にぶついているようでした。



(勝ち馬予想に熱中していますね!)

馬券購入が落ち着いた後は、階下に降りて間近で馬を見る人有り、他所でのレースに思いを馳せる人有り、また、ビールで喉を潤す人有りと様々でした。しかし遠くに紅葉を望みつつ、のんびりと貴賓室で競馬を楽しむという体験は、平素の生活から切り離されたようで、優雅な時間を過ごせました。

戦い済んで日が暮れて・・・帰りのバスの中では、1日の感想のはずが、なぜか競馬の結果発表会が催されていました。「全然勝てませんでした」「トントンです」「しっかり勝ち越しました」戦果は皆様、様々でしたが感想の最後には皆一様に「楽しかったです！」で締めくくられていました。しかし、多くの人たちの心に「来年こそリベンジを！」と熱い思いが宿ったのは間違いないでしょう。

違いないでしょう。



(この馬とこの馬にしようかな?まさか!)

このような機会を与えてくださった兼丸会長、そして毎回大変な幹事を引き受け、貴賓席では疲れて?寝ていた斎藤さんに深く感謝いたします。

第3のふるさと「栃木」

MM36 (2011年卒) 大沼広樹

みなさま初めまして。

この度、北里大学同窓会栃木県支部のお仲間に入れていただきました、大沼広樹と申します。入会をご快諾いただいた滝支部長ならびに、ご紹介いただいた藤田朋恵先生にこの場をお借りして御礼申し上げます。

そして、栃木県支部会の先輩がた、これからどうぞよろしく願いいたします。

私は神奈川県横浜市で生まれ19年間を過ごした後、大学2年生の時に相模原市で一人暮らしを始めました。



(古淵へと続く新道。左手にある木もれ日の森は新緑から紅葉まで四季折々の彩りが楽しめます)

アパートは大学や相模大野周辺ではなく、当時オルガノ前から16号に至る新道が開通し、アクセスのよくなった古淵駅周辺に借りました。通りは徐々に拡張し、女子美術大学行きのバスが走るようになりましたが、北里への直通を、という個人的な願いは叶わず、愛車（ママチャリ）で雨の日も雪の日も通学しました。

学生時代の思い出といえば、卓球、飲み会、同級生との試験勉強といった楽しい記憶と、出席日数不足で一発留年の危機という苦い思い出があります。己の怠慢の結果ですが、今でも夢に見ます。その科目が藤田先生のいらした薬理学だったことは、そっと記載しておきます。

大学卒業後は内科を志し、北里大学病院で初期研修2年、その後神経内科に入局し後期研修で2年勉強しました。その間に同じ神経内科医である妻と結婚し子供を授かり、3年間は国立病院機構相模原病院に出向いたしました。臨床医学と子育てを満喫し、合計12年を過ごした第2のふるさと相模原を今年3月に離れ、4月から宇都宮に転居して参りました。

現在は主に獨協に勤務し、週1回妻の実家の内科をお手伝いしております。



(妻の実家の柴犬(クロ)です)

仕事でも皆様とお付き合いさせていただく機会があるかと思えます。よろしく願いいたします。



(筆者近影。自分の写った写真があまりなく、旅先での写真となつてしまい申し訳ございません。しかも表題と関係ない北海道の写真でした・・・)

日光・尾瀬を守った武田久吉

滝 龍雄

先日、栃木県立博物館の坂井さんから、博物館の自然系の新しい展示「ジョージ・ルイスと武田久吉」が開催されますという案内がありました。

武田が日光周辺で活動していた時に、かの有名な植物学者「牧野富太郎」や彼の高山植物の本に素晴らしい写生図を残した洋画家「五百城文哉」などと親しく接し、こんな言葉を残しています(抜粋)。

「私の登山史は、日光の山々から始まって行って好い。私の心の奥には、日光山の名は第二の故郷ともいうべき程の、反響を喚び起こすに十分である。」(一部現代語化)

武田は東京外国語学校卒業後、父の勧めでイギリスに留学し、キューガーデンで植物学の研究を始めました。更にバーミンガム大学で研究し、植物の研究で植物学の博士号を取得しましたが、これも父の勧めであったようです。山登りは高山植物の研究のためで、イギリス留学中は登山好きの父親としばしば植物採集に出かけたそうです。

今日、栃木県の、日本の、いや世界の文化遺産として日光が指定された影には、武田たち多くの先人による自然や植物研究(ニッコウ・・・、シラネ・・・、と命名された多くの植物があります)の業績が、日光の自然保護も大きく貢献したのかもしれない。感謝感激です。